

夏秋野菜の生産(生育)・出荷状況について

(全国農業協同組合連合会)

1. 平成26年産夏秋キャベツ(7月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
全農群馬 県本部	3,236	99%	189,240	100%	10/上～8/中	3/下～8/下	6～11月	・出荷開始： 高冷地…6/11(前年比1日早い) 準高冷地…6/中旬(平年並み) ・本格出荷： 高冷地…7/中～8/中(平年並み) 準高冷地…7/上(平年並み)	・期間全体を通じて安定した 出荷となる見込み。豊作傾向 だった一昨年をやや下回る が、過去3ヶ年平均を上回る 見込み。
全農長野 県本部	770	101%	37,545	103%	①寒冷地： 2/中～7/上 ②寒地： 3/下～6/中	①寒冷地： 4/下～8/上 ②寒地： 5/上～7/中	①寒冷地： 6/中～10/下 ②寒地： 7/下～10/上	・出荷開始時期： 寒冷地…6/中 寒地は…7/下 ・本格出荷： 7/中から(平年並み)	・総体出荷量は、前年より多 いが、過去3ヶ年平均を下回 る見込み。
ホクレン	440	98%	14,710	103%	①春まき： 4/下～5/中 ②晩春まき： 5/上～6/上 ③初夏まき： 6/上～6/下	①春まき： 5/下～6/上 ②晩春まき： 6/上～7/上 ③初夏まき： 7/上～7/下	①春まき： 7/上～7/下 ②晩春まき： 8/上～9/中 ③初夏まき： 9/中～10/中	・出荷開始時期： 概ね6/下～7/上となるが、一 部地区で遅れが見られる ・本格出荷： 7/下～9/上(平年並み)	・総体出荷量は、高温・降雨 の影響で、少なかった前年を やや上回り、過去3ヶ年平均を 大きく下回る見込み。
その他	1,102	100%	38,914	116%					
対象県 共販計	5,548	99%	280,409	102%					

※ 確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農群馬：前年比99%(概ね前年並みの見込み) ・全農長野：前年比101%(夏秋キャベツの作付を推進しているが微増程度) ・ホクレン：前年比98%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農群馬：播種作業は、豪雪の影響で遅れが生じた。播種後の生育は、順調に推移し、定植作業開始は平年並みであった。今後は、長雨により病害虫の発生が懸念される。また、8玉サイズ中心の出荷になるように前倒し出荷を推進している。 ・全農長野：干ばつ・低温の影響でやや小玉傾向の見込みだったが、6月の降雨で回復傾向。現在の出荷比率は、2L30%、L65%と前年並み。 ・ホクレン：4月末に降霜のあった地区で、一部植替えが発生。また、6月の長雨の影響で、定植が遅れた地区もある。全体的には、やや遅れの状況となっている。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	10月	計
全農群馬県本部	26年見通し ^{※1}	39,405	54,140	54,635	41,060	189,240
	前年比	101%	98%	101%	100%	100%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	98%	103%	101%	102%
全農長野県本部	26年見通し ^{※1}	11,270	8,280	10,000	7,995	37,545
	前年比	103%	106%	100%	101%	103%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	100%	89%	103%	100%	98%
ホクレン	26年見通し ^{※1}	3,311	4,533	3,492	3,374	14,710
	前年比	103%	105%	106%	97%	103%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	86%	85%	81%	88%	85%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{※1}	53,986	66,953	68,127	52,429	241,495
	前年比	102%	100%	101%	100%	100%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	105%	96%	101%	100%	100%

※1:確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:H23年~25年の実績より作成。

○コメント

出荷見通し	主力産地の群馬県は、豪雪の影響で播種作業に遅れが生じた。現在は、回復しており、平年並みの出荷量を見込む。 長野県についても、ほぼ平年並みの出荷量を見込む。
-------	--

2. 平成26年産夏だいこん(7月～9月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
ホクレン	1,311	99%	55,380	103%	①春まき 4/下～6/下 ②初夏まき 6/下～7/中 ③夏まき 7/上～7/下	—	①春まき 6/中～8/下 ②初夏まき 8/中～9/上 ③夏まき 9/上～10/中	・出荷開始時期: 6/下(平成比よりやや遅い) ・本格出荷: 8/下～9月(平成並み)	・出荷量は、高温・降雨の影響で少なかった前年を上回る見込み。6月の降雨の影響で、8月盆前後に出荷の谷間ができる見込み。
全農青森県本部	388	101%	10,395	115%	①春まき 5/上～5/下 ②初夏まき 6/上～6/下 ③夏まき 7/上～7/下	—	①春まき 7/上～7/下 ②初夏まき 8/上～8/下 ③夏まき 9/上～9/下	・出荷開始: 7/上(平成並み) ・本格出荷: 8/上～下(平成並み)	・春まきは、順調な播種・生育により、極端な集中出荷とはならない見込み。 ・初夏まきは、平成並みの出荷見込みだが、8月中・下旬に谷間ができる見込み。
全農岐阜県本部	95	100%	3,740	104%	4/中～8/上	—	6/中～10/中	・出荷開始:6/中(平成並み) ・本格出荷:8月	・期間全体を通じて、前年よりやや多めの出荷量を見込む。
その他	508	94%	8,985	116%					
対象県共販計	2,302	98%	78,500	106%					

※ 確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン:前年比99%(概ね前年並み) ・全農青森:前年比101%(前年より微増) ・全農岐阜:前年比100%(前年並み)
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン:天候に恵まれ、当初、播種作業は順調に進んだ。干ばつのため、地区によっては生育遅れが見られたが、6月の降雨で回復傾向。 ・全農青森:春まきは、播種作業および生育は順調で、現在出荷中。初夏まきは、天候不順の影響で播種時期にややバラつきが出ている。 ・全農岐阜:概ね順調に推移している。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	計
ホクレン	26年見通し ^{※1}	15,760	19,340	20,280	55,380
	前年比	99%	105%	104%	103%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	101%	94%	102%	99%
全農青森県本部	26年見通し ^{※1}	2,965	3,005	4,425	10,395
	前年比	117%	116%	115%	115%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	113%	103%	112%	109%
全農岐阜県本部	26年見通し ^{※1}	1,380	1,275	1,085	3,740
	前年比	104%	104%	105%	104%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	114%	98%	94%	102%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{※1}	20,105	23,620	25,790	69,515
	前年比	101%	106%	106%	104%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	103%	95%	103%	100%

※1:確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:H23年~25年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	主力産地の北海道は、高温・降雨の影響で少なかった前年を上回る見込み。
-------	------------------------------------

3. 平成26年産たまねぎ(7月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年6月現在

	面積 ^{※1}		出荷量 ^{※2}		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
ホクレン	12,337	100%	126,602	123%	①極早生: 2月 ②早生: 2月 ③中生: 2月 ④晩生: 2月	①極早生: 4/中～5/中 ②早生: 4/中～5/中 ③中生: 4/中～5/下 ④晩生: 4/中～5/下	①極早生: 8月 ②早生: 8/下～11月 ③中生: 11～4月 ④晩生: 11～4月	・出荷開始: 8月10日頃より出荷開始の見込み。早期出荷対策を行っており、8月の出荷数量は、過去3ヶ年で最も多い見込み	・定植は、4月中旬より開始し、5月10日頃に概ね終了した。今年度は適度な降雨があり、期間全体出荷量は、豊作だった平成24年度並みの見込み。
JAさが	2,046	95%	21,020	86%	①中晩生: 9/下	①中晩生: 11/中～12/下	①中晩生: 5/中～	・出荷最盛期:6～8月	・出荷量は、豊作だったより前年より少なく、過去3ヶ年平均よりやや多い見込み。
全農兵庫県本部	1,484	101%	29,630	125%	①中生: 9/下 ②晩生: 9/下～10/上	①中生: 11/中～12/中 ②晩生: 11/下～12/下	①中生: 6/中～8/下 ②晩生: 7/中～9/下	・出荷開始(中生):6/中 ・出荷最盛期:8月上～8/下	・出荷量は、平年並みだった前年を上回り、豊作だった平成23年度並みの見込み。
その他	1,835	112%	25,008	119%					
対象県 共販計	17,702	101%	202,260	118%					

※1: 当初計画(H26年3月策定)の7月～10月出荷分より作成。

※2: 計画変更(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」のうち、4ヶ月(7～10月)の合計値より作成。

○ コメント

作付面積 (4～10月出荷分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン : 前年比100%(早生種・中生種の作付比率が高い。作付比率は早生種34%、中生種57%) ・JAさが : 前年比95%(中生種の作付が減少。作付比率は早生種36%、中生種46%) ・全農兵庫: 前年比101%(早生種が減少し、中生種に切り替わっている。作付比率は、早生種17%、中生種59%)
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン : 定植は平年に比べ早く終了した。その後、干ばつ傾向により生育が停滞したが、6月の降雨により回復し、生育順調となっている。 ・JAさが : 定植は年内が80%、年明け1月が20%となっており、順調に進んだ。玉サイズは、小玉傾向となっている。 ・全農兵庫: 中・晩生種ともに、定期的な雨があり、玉肥大は順調となっている。作況は平年を上回り、豊作だった平成23年度並みの見込み。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	26年見通し ^{※1}	0	19,430	50,330	56,842	126,602
	前年比	0%	109%	126%	126%	123%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	0%	119%	116%	115%	116%
JAさが	26年見通し ^{※1}	13,745	7,035	240	0	21,020
	前年比	95%	86%	16%	0%	86%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	115%	95%	21%	0%	102%
全農兵庫県本部	26年見通し ^{※1}	13,380	12,380	2,680	1,190	29,630
	前年比	120%	127%	137%	140%	125%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	118%	125%	118%	142%	122%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{※1}	27,125	38,845	53,250	58,032	177,252
	前年比	105%	108%	123%	126%	117%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	115%	116%	114%	116%	115%

※1:計画変更(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」のうち、7月～10月出荷分より作成。

※2:H23年～25年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	主力3団体合計の7～10月出荷見通しは、前年および過去3ヶ年平均を上回る見込み。 その中で9～10月は、ホクレンの出荷シェアが高く、前年および過去3ヶ年平均よりも上回る見込み。
-------	---

4. 平成26年産秋にんじん(8月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
ホクレン	2,140	100%	53,025	105%	①春まき 4/下～5/上 ②晩春まき 5/上～5/下 ③初夏まき 6/上～6/下	—	①春まき 7/中～8/中 ②晩春まき 8/中～9/下 ③初夏まき 10/上～10/下	・出荷開始:7/中 ・本格出荷:8/中・下～10/上	・出荷量は高温・降雨の影響で、出荷が不安定だった前年を上回る見込み。 ・6月の降雨により、9/中～10/上まで谷間となる見込み。
北海道青果商協	1,560	108%	34,491	100%	同上	—	同上	同上	・8月旧盆までの前進出荷を推進している。ピークは、平年並みの見込み。
全農青森県本部	132	98%	2,075	116%	①春まき 4/上～5/中 ②夏まき 5/下～6/下	—	①春まき 7/上～9/上 ②夏まき 9/中～10/下	・出荷時期: 春まきは7/上～9/上 夏まきは9/中～10/下	・春まきは、播種後の干ばつによる発芽不良が心配されたが、出荷量は平年並みの見込み。 ・夏まきは、6月の降雨により播種時期が遅れ、出荷ピークが10月にずれこむ見込み。
その他	0	0%	0	0%					
対象県 共販計	3,832	103%	89,591	103%					

※ 確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン:前年比100% ・北商 :前年比108% ・全農青森:前年比98%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道:天候に恵まれ、播種作業は順調に進んだ。その後、干ばつの影響で発芽率低下や形状不良が心配されたが、6月の降雨で回復。 ・全農青森:春まきは、播種作業が順調に進んだ。その後、干ばつの影響で発芽不良の圃場もあるが、それほど影響はない。 夏まきは、雨の影響で播種が遅れた地区があり、出荷ピークが10月にずれ込む見込み。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	8月	9月	10月	計
ホクレン	26年見通し ^{※1}	15,600	17,535	19,890	53,025
	前年比	116%	101%	101%	105%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	116%	103%	104%	107%
北海道青果商協	26年見通し ^{※1}	9,985	11,828	12,678	34,491
	前年比	110%	94%	98%	100%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	98%	93%	95%	95%
全農青森県本部	26年見通し ^{※1}	365	290	1,420	2,075
	前年比	119%	134%	113%	116%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	96%	99%	103%	101%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{※1}	25,950	29,653	33,988	89,591
	前年比	114%	98%	100%	103%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	99%	101%	102%

※1: 確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2: H23年~25年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	・主力産地の北海道は、8月下旬より単価下落の傾向にあるため、8月上・中旬の出荷数量が前年・過去3ヶ年平均より多い見込み。 9~10月については、ほぼ前年並みの見込み。
-------	--

5. 平成26年産夏はくさい(7月～9月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
全農長野県本部	1,440	103%	84,683	102%	①寒冷地 2/下～8/上 ②寒地 3/下～8/上	①寒冷地 3/下～8/下 ②寒地 5/上～8/中	①寒冷地 5/下～11/上 ②寒地 7/上～10/下	・出荷開始:5/下 ・本格出荷:7/中～9月	・7～8月:前年並みで、過去3ヶ年より少ない見込み。 ・9月:秋作を増やしているの で、9月の出荷量は、前年・過 去3ヶ年平均を上回る見込 み。
ホクレン	199	100%	6,469	101%	①春まき 4/中～5/上 ②晩春まき 5/中～5/下 ③初夏～夏まき 6/中～7/下	①春まき 5/中～6/上 ②晩春まき 6/中～6/下 ③初夏～夏まき 7/上～8/下	①春まき 7/上～7/下 ②晩春まき 8/上～8/中 ③初夏～夏まき 8/下～10/下	・出荷開始:7/上 ・本格出荷:8/下～9月	出荷量は概ね、前年並みの 見込み。
全農群馬県本部	185	100%	3,231	113%	2/下～8/下	3/下～9/上	5/下～11月	・出荷開始: 5/25(平年並み) ・本格出荷: 6/中～9/下(平年並み)	・今後の天候によるが、反収 は前年を上回り、総体出荷量 も前年を上回る見込み。
その他	0	0%	0	0%					
対象県 共販計	1,824	104%	94,383	102%					

※ 確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野:前年比103%(秋作の作付が微増) ・ホクレン:前年比100% ・全農群馬:前年比100%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野:今年は、梅雨入り後の降水量が多く、やや遅れ気味である。玉肥大も良く、大玉傾向となっている。 ・北海道:定植後に降霜の影響があり、また6月の長雨等の影響はあるが、生育は順調に推移している。 ・全農群馬:2月の豪雪の影響は少なく、播種から定植まで平年並みで推移。6月下旬の降雹被害により、一部品質が低下している。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	計
全農長野県本部	26年見通し ^{※1}	23,057	24,206	37,420	84,683
	前年比	100%	101%	104%	102%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	95%	97%	109%	101%
ホクレン	26年見通し ^{※1}	1,146	1,723	3,600	6,469
	前年比	96%	105%	101%	101%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	102%	97%	107%	103%
全農群馬県本部	26年見通し ^{※1}	1,314	736	1,181	3,231
	前年比	113%	121%	108%	113%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	105%	108%	122%	111%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{※1}	25,517	26,665	42,201	94,383
	前年比	100%	101%	104%	102%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	96%	98%	109%	102%

※1:確定計画(H26年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:H23年～25年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	主力産地の長野県は、現在遅れ気味で、7～8月の出荷が過去3ヶ年平均を下回る。 秋作の作付が、微増しているため、需要期に入る9月の出荷量が多くなる見込み。
-------	---

6. 平成26年産夏秋レタス(6月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
全農長野県本部	4,136	103%	138,995	100%	①寒冷地 4/上～8/上 ②寒地 3/中～7/中	①寒冷地 4/下～8/下 ②寒地 4/下～8/上	①寒冷地 6/中～10/下 ②寒地 6/下～10/中	・出荷開始:6/中 ・本格出荷:6/下～9月	・7～9月中心の出荷となり、 期間全体の出荷量は、前年 並み。しかし、週単位で出荷 量にバラつきがでる見込み。
全農群馬県本部	580	100%	17,458	101%	1/下～8/下	3/下～8/下	4/中～11月	・出荷開始: 4/20～(平年より4日遅い) ・本格出荷: 6/下～(平年並み)	・多かった前年並みの出荷量 を見込む。
全農茨城県本部	530	100%	10,127	112%	8/上～8/中	8/中～9/中	10/上～10/下	・出荷開始:10/上 ・本格出荷:10/中	・平年通り、10月上旬より、出 荷開始となる見込み。
その他	595	86%	11,513	110%					
対象県 共販計	5,841	100%	178,093	101%					

※ 確定計画(H26年5月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野:前年比103%(微増傾向) ・全農群馬:前年比101% ・全農茨城:前年比100%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野:定植時期の干ばつ傾向と、6月の低温降雨が影響し、圃場ごとの生育進度にバラつきが見られる。 ・全農群馬:2月の豪雪の影響により、定植が遅れたが、その後の生育は順調。長雨の影響により、品質低下が見られる。 ・全農茨城:播種開始は8/上、定植開始は8/中、出荷開始は10/上となる見込み。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	6月	7月	8月	9月	10月	計
全農長野県本部	26年見通し ^{※1}	26,685	32,837	34,619	33,035	11,819	138,995
	前年比	100%	102%	98%	101%	97%	100%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	110%	96%	104%	111%	98%	104%
全農群馬県本部	26年見通し ^{※1}	5,024	3,902	3,824	3,150	1,558	17,458
	前年比	105%	102%	97%	104%	92%	101%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	101%	103%	106%	105%	122%	105%
全農茨城県本部	26年見通し ^{※1}	0	0	0	799	9,328	10,127
	前年比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	156%	109%	112%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	0%	#DIV/0!	0%	200%	100%	103%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{※1}	31,709	36,739	38,443	36,984	22,705	166,580
	前年比	101%	102%	98%	102%	101%	101%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	97%	104%	111%	100%	104%

※1:確定計画(H26年5月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:H23年~25年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	今後の気温、降雨により出荷量の変動幅が左右される。主力産地の長野県は、9月の出荷ウェートを高める傾向にある。
-------	--